

JAあいち尾東 自己改革の取り組み

営農指導事業

取り組み背景

今まで農業者が営農相談をしたい場合は営農センターを訪ねており、JA職員が圃場に出向き作物の育成状況等についてリアルタイムな営農指導を求める声が多くありました。



営農の職員(12名)が生産者の畑等に直接出向いて営農指導を行い、栽培する農産物の提案や栽培指導、情報提供(病虫害情報など)等を行っています。

訪問実績

平成29年度実績	延べ1,521回
平成30年度実績	延べ1,356回
令和元年度目標	1,584回



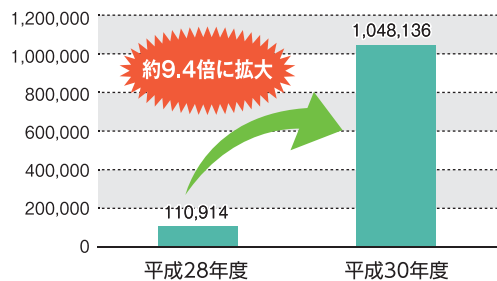
出向く営農指導内容

- 定植時期や追肥の時期等の指導
- 端境期に出荷できるよう、収穫時期をずらした栽培や品種の指導
- 土壌や品種に適した低価格な肥料の紹介
- 特産品プチヴェールや新野菜などの栽培指導
- 生産者をグループ化し長期収穫に向けた栽培計画づくり
- 生産履歴記帳、農薬適正使用指導、GAP(農業生産工程管理)の指導

事例

平成29年度より、本格的にアレッタ・トウモロコシ栽培を開始しました。栽培体系や出荷規格等を検討して農家の方に栽培提案し出荷量を増やしています。

●アレッタ販売実績(円)



栽培現地講習会



生産者による対面販売等も積極的に実施

●トウモロコシ販売実績(円)

